

平成 30 年度 KABSE 学生研修会

1. 内容

就職活動を控える学部・修士学生、高専生を対象に、道路や橋梁をはじめとした社会基盤設備の重要性や今後の展望について、ゼネコン、建設コンサルタント、官公庁、高速道路、鉄道、橋梁メーカーなどで活躍する若手・中堅技術者や女性技術者の皆さんに講演して貰います。実務内容の紹介、建設系技術者としての役割やこれから社会へ羽ばたく学生へのメッセージがメインテーマです。

2. 主催

一般社団法人 九州橋梁・構造工学研究会(KABSE)

※ 一般社団法人九州地域づくり協会の人材育成助成事業の支援を受けています。

3. 日時

2018 年 11 月 10 日(土) 第 I 部 : 13:00~17:00, 第 II 部 : 17:15~19:00

4. 場所

福岡大学 A 棟 AB02 号室 (七隈キャンパス)

5. 定員

第 I 部 100 名, 第 II 部 50 名 (申込者多数の場合は先着順)

6. 参加費

第 I 部 研修会 無料 ※参加者へは、交通費としてその一部を補助します。

第 II 部 交流会 2,000~2,500 円程度 (飲食代として)

7. 第 I 部 研修会

12:15-12:45 受付 ※受付は時間厳守でお願いします。

13:00-13:10 挨拶 KABSE 運営委員会委員長 貝沼 重信

13:10-13:40 国土交通省九州地方整備局 谷川 征嗣 氏

13:40-14:10 九州旅客鉄道 (株) 上村 寿志 氏

14:10-14:40 (株) 建設技術研究所 平原 慎也 氏

休憩

15:00-15:30 住友大阪セメント (株) 安井 豊次 氏

15:30-16:00 エム・エム ブリッジ (株) 上坂 隆志 氏

16:00-16:30 清水建設 (株) 有須田 朋子 氏

16:30-17:00 質疑

8. 第 II 部 交流会

17:15-19:00 福岡大学内 「ひだまり」

9. 申込・問合せ先など [申込締切日 : 10 月 31 日 (水)]

- ・ 氏名, 所属, 学年, 所属研究室, メールアドレス, 第 I 部・第 II 部のそれぞれの参加を申込時にご連絡下さい。KABSE 学生会員の人は, 会員番号もお知らせ下さい。なお, 研究室単位で申込み頂ければ幸いです。
- ・ 当日, KABSE の学生会員として登録をお願いさせて頂く予定です。

一般社団法人 九州橋梁・構造工学研究会 事務局 進野久美子

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通 1-1-1 サンセルコビル 6F

TEL/FAX 092-737-8570

E-mail : jim@kabse.com

KABSE

学生研修会

日時 | 2018年11月10日(土)
13:00 ~ 19:00

会場 | 福岡大学七隈キャンパス
A棟 AB02号室

土木技術者の生き方を学ぶ。

- 主催：一般社団法人 九州橋梁・構造工学研究会
 - 会場：福岡大学 A棟 AB02号室（七隈キャンパス）
 - プログラム：第Ⅰ部 研修会 13:00 ~ 17:00
第Ⅱ部 交流会 17:15 ~ 19:00（会場 福岡大学内「陽だまり」）
 - 定員：第Ⅰ部 100名（参加無料）
第Ⅱ部 50名（飲食代として2000円程度徴収致します。）
※参加者へは交通費としてその一部を補助致します。
- ※本研修会は、一般社団法人九州地域づくり協会人材育成助成事業の支援を受けています

- 申込方法等
以下の必要事項を明記の上、下記連絡先へメールでお申し込みください。
①氏名②所属③学年④所属研究室⑤学生会員会員番号⑥メールアドレス
⑦第Ⅰ部、第Ⅱ部のそれぞれの参加を申込時にご連絡ください。
④、⑤は該当者のみお知らせください。
なお、研究室単位で申込頂ければ幸いです。
宛先 / 〒810-0004 福岡市中央区渡辺通 1-1-1 サンセルコビル 6F
一般社団法人 九州橋梁・構造工学研究会 事務局 進野久美子
TEL,FAX/092-737-8570
E-mail/jim@kabse.com

講師の紹介



谷川 征嗣

国土交通省九州地方整備局



上村 寿志

九州旅客鉄道(株)



平原 慎也

(株) 建設技術研究所



安井 豊次

住友大阪セメント(株)



上坂 隆志

エム・エムブリッジ(株)



有須田 朋子

清水建設(株)

例年好評をいただいている「KABSE 学生研修会」が 2018 年 11 月 10 日（土）に福岡大学にて開催された。この研修会は、2006 年から年 1 回のペースで開催しており今年で 13 回目を迎えた。学生研修会とは、就職活動を控える学部生、修士学生、高専生を対象に、道路や橋梁をはじめとした社会基盤設備の重要性・現状・今後の展望について、ゼネコン、橋梁メーカー、建設コンサルタント、電力、鉄道、官公庁などで活躍する若手・中堅技術者の講演を柱の一つとしており、これから社会へ羽ばたく学生へのメッセージをメインテーマとしている。本年度は、6 名の講師に登壇いただき、各業界の仕事内容の他、1 日のタイムスケジュール、自身のモチベーションの変化、各業界で必要とされる資格、また、各々の立場や経験を踏まえて働くことの意義についても講演いただいた。さらに、本研修会では、九州内の学生相互のネットワークを育成して、土木建設業への関心を高めて貰い、将来の九州の若手技術者を連携することも目的の一つである。

第Ⅰ部（13:00～17:00）では、まずは KABSE の概要や取り組みについて、KABSE 運営委員長の貝沼重信先生（九州大学）に報告いただいた。その後、谷川征嗣氏（国土交通省九州地方整備局）、上村寿志氏（九州旅客鉄道（株））、平原慎也氏（（株）建設技術研究所）、安井豊次氏（住友大阪セメント（株））、上坂隆志氏（エム・エムブリッジ（株））、有須田朋子氏（清水建設（株））の第一線で活躍されている 6 名の講師に講演頂いた。第Ⅱ部（17:15～19:00）では、講師と学生の立食形式による懇親会を催した。

参加者数は、第Ⅰ部は学生 93 名、社会人 23 名（講師 6 名、他 17 名）、第Ⅱ部は学生 57 名、社会人 23 名と賑わいをみせた。特に第Ⅰ部においては過去最多参加数を記録した昨年に引き続き、今年も多く参加があり、長崎県など遠方からも多数参加した。別紙に過去 6 年間の第Ⅰ部の参加人数の変遷を示す。近年の参加者数は増加傾向であることから、学生側の KABSE および学生研修会の認知度が年々上がっていることが伺える。これは、学生会員の設置および会員特典の充実化が実りつつあり、また、今回から行ったポスターの事前配布による影響と思われる。参加した学生は写真にも示すように活発に社会人に質問し、自身の将来の進路選択に大いに役立てていることが感じられた。

ここで、学生研修会の実施後のアンケート結果の一部を紹介したい。まず KABSE の認知度について、参加時点で KABSE を知っている学生が今年度は 47%と、昨年度の 35%から 12%増加しており、KABSE の活動内容を知った上で参加している学生が増えていることが伺える。大学・高専の講義中に KABSE を紹介する先生が多いことが主な要因であることがアンケートからわかった。また、学生研修会への参加の動機は、「先生からの案内」が一番多かったが、「内容で判断」と答える学生も多く、各大学・高専で過去に参加した先輩達から本研修会の内容が有益であったことを後輩達に伝わっている証であると考えられる。

以下に講演に関する意見・感想の自由コメント（原文のまま）をいくつか紹介する。すべての参加者が「参加してよかった」というポジティブな感想であったが、なかには今後の要望を挙げている学生もおり、今後の企画・運営に反映させていきたいと考えている。

- 土木系の企業で実際に働かれている方に各分野の実際の仕事の内容や様子を教えてください、土木系の仕事のイメージを持つことができた。実際の仕事のお話を聞ける機会はあまりないので、貴重な時間になった。

- 業界毎の仕事内容や働いている方のリアルな感想を聞くことができとても為になりました。土木の中でも構造の話でしたが，自分が学んでいることが直接繋がってくると思うとまだまだ学習が必要だと感じました。
- 1日の流れやキャリアパス，業務内容について詳しく話されており，入社後の姿が思い浮かびやすかった。
- 色々なお話が聞けて大変勉強になりました。こういった職業・分野に今後就いていくか，学んでいくかしっかり考えることができました。貴重な機会をいただき，誠にありがとうございます。
- 自分の課だけでなく幅広く説明してくれた方や，自身の経験や心情を包み隠さず話してくれた方もいて，これから就活に臨む私には貴重な経験となりました。また，資格についての話を聞くことができたのは良かったと思います。個人的にはもう少し資格に重点を置いた話も聞けたら，より興味をもてたと思います。

学生研修会に参加した学生たちが社会に巣立ち，九州を中心とした若い世代のネットワークが広がることを期待して，広報活性化小委員会としては今後も本研修会を継続していくことで，学生のキャリアプランや就職活動に対して有益な情報を提供していこうと思う。

最後に，会場を提供して頂いた福岡大学の渡辺浩先生，樋原弘貴先生，また会場設営の準備を手伝ってくれた福岡大学の大塚柚人君，國武稜君をはじめ，ご協力頂いた関係各位に深く感謝したい。なお，今年度の研修会は一般社団法人九州地域づくり協会の人材育成助成事業からの助成支援を受けて開催された。重ねて謝意を表する。

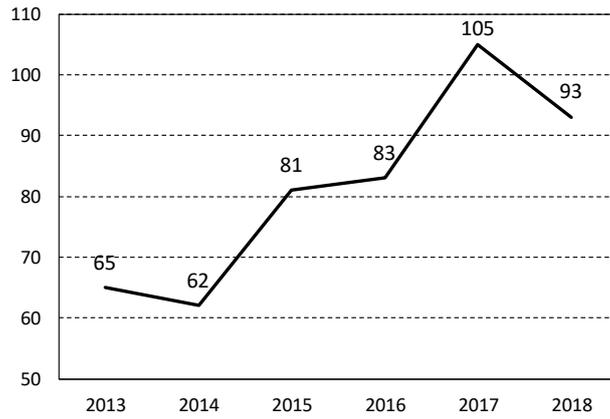


写真-1 第I部

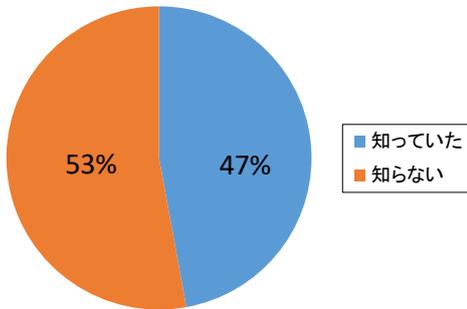


写真-2 第II部

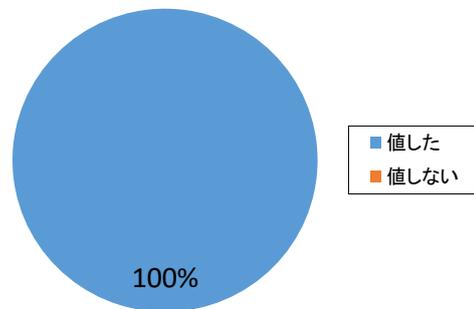
第 I 部出席者の推移(2013~2018)



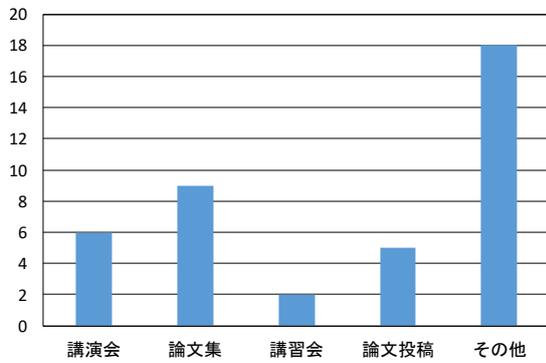
KABSEの認知度について



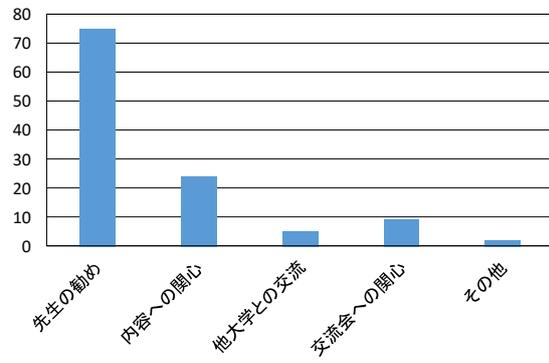
参加するに値したか？



KABSEとのつながり



参加の動機(複数回答可)



今後希望するイベント・内容(複数回答可)

